SOWER

ソア＝種まく人
No.25
February 2005
財団法人
日本聖書協会

特集 中国は今 教会成長と聖書頒布の実状を探る

新聖書の世界 24

写真／文 横山匡

天の星のように

アブラハムが住んでいたハランの地です。聖書にはユーフラテス川の下流の町ウルからここに移り住んだと書かれていますが、一説によれば彼はここで生まれ育ったとも伝えられています。

日干し煉瓦と泥で塗り固めた、とんがり帽子型の家に住んでいる村人は、夏は涼しく冬は暖かいと胸を張ります。中に入ると天井が高く、意外にひんやり感じます。乾季に入った六月初旬、この家に泊めてもらうことにしました。ところが、庭に作られた高床式の大きなベッドに布団を敷いてくれたのです。見ると、どの家の庭にも同じベッドが見られます。満天の星に包まれ、宇宙を漂うような気分に浸りつつ夢路をたどりました。

ハランには、月や星々の神を礼拝するシンの主神殿があり、通商の交差点としても繁栄していました。信仰によってアブラハムは、行き先も知らず、神の示しに従ってハランを旅立ち、約束の地に向かいました。

「あなたを豊かに祝福し、あなたの子孫を天の星のように、海辺の砂のように増やそう。」（創世記二二章一七節）

The World of the Bible “As the stars in the sky” / Photo & Essay by Tadashi Yokoyama

巻頭聖句

今やわたしは、あなたがたのために苦しむことを喜びとし、キリストの体である教会のために、キリストの苦しみの欠けたところを身をもって満たしています。

（コロサイの信徒への手紙　1章24節）

異邦人の使徒パウロの有名なことばです。
カトリック信者になってまだ間もない若いときのことでした。
「キリストの苦しみの欠けたところ」とはどういう意味だろうと理解に苦しみ、
所属教会のドミニコ会司祭に質問しました。
さすが説教者の会であるドミニコ会士、熱心に説明してくれました。
そのとき頭で理解しながら、今ひとつ心では納得できかねた、という記憶が残っています。
あのときから40年がたちました。いろいろな人の苦しみを知り、
また自分自身も何度も苦しみの体験を繰り返して、この聖句を思い出してきました。
もしかしてわたしたちの苦しみは、パウロの言うこの苦しみに通うものだろうか、と考えたりします。
実際、「キリストの体である教会のために」わたしたちが耐え忍ぶべき苦しみの部分があるのです。
それはわたしが担当する部分なのです。そう思いながら
協力者たちと一緒に、今日も与えられた自分の務めに取り組んでおります。

岡田武夫
おかだたけお
カトリック東京大司教

CONTENTS

Sower
No.25
2005

2 特集 **中国は今**
教会成長と聖書頒布の実状を探る
7 書評 **聖書 新共同訳 スタディ版 新約聖書**
井幡清志
9 聖書セミナー特別講演会 守屋彰夫
秦剛平先生、村岡崇光先生講演要旨
12 JBS情報
中部地域での活動
クリスチャンセンター
神戸バイブル・ハウスの近況
Eメール 渡部 信
14 エッセー㉜ 森 祐理
マリア福音姉妹会にて
16 人物と聖書 鈴木範久
川端康成の聖書
18 Bible Guide
こんな聖書、ご存じでしたか？
20 **教会備え付け聖書**
リフレッシュ・キャンペーン
21 聖書図書館蔵書シリーズ――㉓
ジュネーブ聖書

表紙の言葉
ロシアの冬は長く寒い。クリスマスは1月7日。大晦日にはマロースじいさん（サンタクロース。マロースは厳しい寒さ）と雪娘が贈り物を届けに来るお祭りがあります。そしてマースレニツァ祭り（2～3月）には、わら人形を焼き、太陽を象徴した丸いクレープを食べ、冬を送り、春を迎えます。（絵=月本佳代美）

特集

中国は今

教会成長と聖書頒布の実状を探る

広大な国土と13億人もの人口、そして経済成長率9%と、いまやアジア経済の中心となった中国。クリスチャン人口は推定6000万人で、アジア最大と言われる。今回は、この中国における教会成長と、それに寄与している聖書頒布の実状についてスポットを当てる。

編集部

鎖国から植民地へ

一九世紀半ば、中国も清王朝末期には、朝鮮、日本とともに鎖国下にあった。世界の覇権を握りつつあった英国は、貿易拡大を目指し、インドから東南アジアに進出し、そこで栽培されたアヘンを中国に大量に持ち込んだことから、一八四〇年にアヘン戦争が勃発。英国に敗れた中国は、南京条約によって香港を失い、五港開場を余儀なくされる。

時期を同じくして、ロバート・モリソンやカール・ギュツラフなど、多くのプロテスタントの宣教師が中国伝道に送り出された。彼らは医療や教育など社会福祉事業に携わりつつ、中国語聖書の翻訳と頒布をして中国伝道に尽力した。カトリック教会も同様に、医療事業をはじめ、孤児院や養老院などを奥地にまで設立し、徐々にキリスト教は中国に根を下ろし浸透していく。

しかし一九〇〇年には義和団事件（北清事変）が起こり、「キリスト教は植民地支配の手先だ」と、民衆による外国人排撃運動の中、外国公使館、鉄道や教会が標的となった。この暴動は日本など八カ国の軍隊によって鎮圧され、かえって中国の被植民地化が進む結果となった。

日本支配から共産国家建国へ

日清戦争に勝利した日本は、中国、朝鮮を含む東アジア全域で植民地支配を推し進めた。一九三七年に北京郊外で起こった盧溝橋事件を発端に日中戦争となり、以来、中国は全土が戦場となった。そして一九四五年の日本の無条件降伏により、一世紀ぶりに中国は外国の支配から解放されたのである。

その後、中国本土では、毛沢東を指導者とする共産党が一九四九年に中華人民共和国を樹立。対して、共産党に敗れて台湾に逃れた蒋介石による国民党政府は、中華民国を名乗る。こうして中国は事実上の分断国家として、二つの政治体制が半世紀を経た今もなお、緊張をはらんだまま継続している。

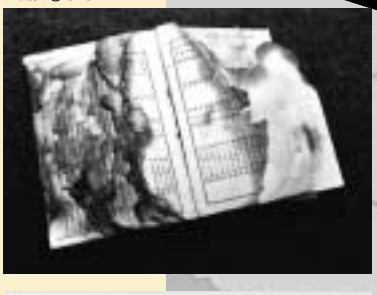
文化革命期の教会と中国聖書協会

建国当初、中国共産党は無神論政策をとるとともに、かつて欧州列強に蹂躙された苦い経験から、キリスト教に対して厳しい迫害を行った。一九六六年から始まった共産党内部の権力闘争に端を発する文化革命時期には、伝統文化や知識人、官僚が弾圧され、極端な宗教排撃により、教会堂は没収され、聖書は焼かれ、宣教師は投獄・追放された。その時期、各地で数百万から二千万もの人々が犠牲になったとも言われている。この暗黒の時代に信徒たちは地方に散らばり、自宅で密かに礼拝を行いながら信仰を堅く守ったのである。

なお、中国聖書協会の本部は、中国建国前の一九三九年から置かれ、一九五九年までの二十年間、聖書頒布の担い手として活動していた。しかし、一九四九年に共産党が政権を握ったのを機に活動が制限され、ついに閉鎖に追い込ま

聖書の配送拠点 ／提供©CCC

文化革命期に焼かれた聖書
／提供©UBS



文革期の紅衛兵
／提供©UBS

バイブル・バンに積み込まれる聖書
／提供©UBS

テーマ別の小冊子／提供©UBS

農村の教会に届けられた聖書／提供©UBS

れた。こうして聖書普及活動も、一九七九年に教会の扉が開かれるまで、事実上、完全に停止されたのである。その間、聖書協会世界連盟（UBS）は、英国統治下にあった香港に香港聖書協会を設立して、中国語聖書の頒布活動の拠点とした。

三自愛国運動と中国基督教協会

一九七六年に毛沢東が死去すると、鄧小平が指導者となり、改革解放の時代を迎えた。政府監督のもと、礼拝など教会の活動は保証されたが、政府登録が義務づけられた。登録教会は、自主、自立、自養を三本柱に、海外からの人的・資金的援助を受けないことを規約とし、唯一の教会連合体として中国基督教協会（CCC）を組織した。そのため、全教派は統合されたが、各教会の過去の伝統は継承されている。

三自愛国運動のもとでは、教会、教職、聖書はすべて国内で賄われなければならない。つまり、中国人自らの手で教会を運営し、経済的にも自立し、教職者を育成するという原則論が堅持されている。CCCと、この原則論を維持するための三自愛国運動委員会（TSPM）の両立てで、中国教会は再開を果たした。これによって、宗教活動の原則論による制限はあるものの、個人の信教の自由が憲法で保障されることとなったのである。

そして一九八〇年当時、百万人と言われた中国国内のクリスチャンは、およそ二十五年間で目覚しく増加し、公認教会数はプロテスタント

のCCC加盟教会で約五万にのぼる。別の宗教と見なされるカトリック教会（天主教会）を合わせると、信徒数は統計上二千五百万人を数える。

政府機関である国家宗教事務局も、徐々に宗教政策をゆるめ始め、かつて没収された教会堂が返還されるようになった。公認教会での礼拝は現在、会堂に人があふれて活気がある。上海市などでは、従来禁じられていた子供のための教会学校が一部で開かれ、子供用聖書の印刷もようやく許可された。また、外国人牧師による礼拝説教も黙認され始めた。二〇〇四年の時点で、上海市の信徒増加率は年五％という結果が出ている。

「家の教会」

一方、政府登録をしていない教会も依然として存在している。推定でも二、三千万人の信徒がいると言われるが、確かな数は確認されていない。

非公認の教会は「家の教会」「地下教会」と呼ばれているが、その性格上、二種類に分類される。責任者としての牧師、会計報告者、適切な礼拝場所を持てず、登録条件を満たしていない群れと、中国政府の原則論に抵抗し、登録を拒否している家の教会とである。特にカトリック教会は、総本山であるバチカンとの関係から、半数が原則論に反対して地下教会となっていると聞く。

中国政府は外国の干渉を排する立場をとり、宣教師の活動や聖書などの印刷文書の持ち込みを厳しく禁じている。特に登録を拒否している教会は、政府の原則論を逸脱する非合法なものとして、集会の禁止、教会の閉鎖、関係者の逮捕、投獄が現在でも行われている。

地下教会のために危険を冒して聖書や伝道文書の持ち込みもなされてきたが、現在では中国語聖書が公認教会の購買部でおよそ十三元（約百七十円）で、住所氏名などを明かすことなく、個人で自由に購入できるようになった。そのため、今なお続く聖書の密輸がかえって混乱を招いている面が出てきている。

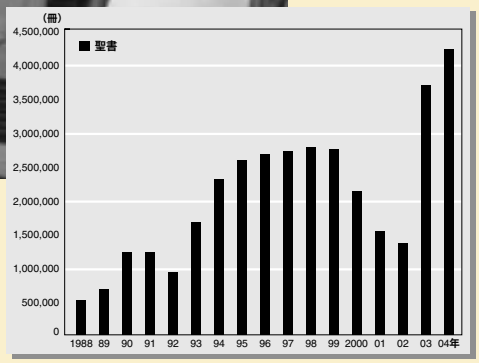
愛徳印刷所の設立と聖書頒布

文化革命終了後、一九八〇年から、信徒数の爆発的な伸びに伴い、聖書の需要が高まった。そんな中、閉鎖されていた北京の元中国聖書協会事務所の屋根裏部屋から、焼かれないまま

聖書印刷三千万冊完成記念　2002年12月／提供 ©UBS

愛徳印刷所の製本ライン／提供 ©UBS

海外向けの各国語の聖書も印刷されている



愛徳印刷所での聖書製作数の推移／提供 ©UBS

残っている数冊の中国語聖書が発見され、当初、それを復刻印刷して、中国教会の聖書の需要を満たしたという逸話がある。

ＵＢＳは聖書不足を解消するため、聖書印刷を専門事業とする愛徳印刷所を一九八七年に南京に設立した。これは、海外の援助を受け入れないという中国教会の立場を尊重して、ＣＣＣの組織外に愛徳基金会という中国内の組織を設立し、そこと提携（合弁）するかたちをとっている。そのためにＵＢＳでは、一九八六年から二年間で二十億円近くの募金運動を展開している。これはもともと中国へ印刷機を贈る運動としてスタートし、それがやがて聖書印刷工場建設へとスケールアップされたのである。

愛徳印刷所で印刷された聖書は、ＣＣＣの手で、チベット以外の全省にある七十箇所の配送拠点から二十六台のバイブル・バンによって、日々、各地の公認教会に届けられている。その聖書は旧新約六十六巻の揃った完全なものであり、一部で言われているようなダニエル書や黙示録の除かれたものではない。また現在は、中国語だけでなく、輸出用の各国語聖書や分冊、選集から、点字聖書やカセット、「ジーザス」のＤＶＤ、絵本聖書まで、多くの種類がつくられている。

愛徳印刷所にはＵＢＳのスタッフが常駐し、適正な運用を見定めている。現在、その職員は二百五十名、聖書の頒布数は十五年間で実に三千五百万冊（二〇〇四年一二月末推定）に達する規模に成長している。

ＵＢＳでは現在も、一冊あたり一ドルに相当する年間二億円もの資金を予算化し、中国語聖書の印刷用紙代を賄うために捧げている。聖書の販売価格を下げて人々が購入しやすいようにしているが、これは日本を含めた各国の聖書協会の支援の賜物である。

「ジーザス」のDVD

上海の教会の購買部にて

点字聖書

絵本聖書／提供 ©UBS

香港返還とその後

かつて英国領として総督府が置かれていた香港は、一九九七年に中国本土への返還が果たされた。これまで自由貿易の利点を活かして発展を遂げてきた香港の優位性を残すため、一つの国家の中に社会主義と資本主義の二つの異なる制度が共存することを容認する一国二制度（一国両制）の原則により、現在は特別区として自治権が認められている。返還後七年経ち、香港と中国本土との物資や人の流れが少しずつ容易になってきたようである。

香港聖書協会は、中国聖書協会が閉鎖された時に設立され、シンガポールや台湾などアジア各地の中国語聖書の需要を満たす頒布活動の拠点として活動を始めた。今日、中国政府の管理下に置かれたが、その活動範囲は香港特別区内に留まっている。

ただ、香港の存在自体がきわめて流動的であるため、香港聖書協会はＣＣＣとＴＳＰＭとの協力態勢をより強めている。二〇〇四年八月にはＣＣＣ主催で香港聖書展（香港聖経事工展）が開催され、香港内外の各教派的背景を持つ主要なキリスト教団体代表が招かれ、約三万人が来場した。

中国キリスト教会の将来

先述のように、信徒数の増加に伴う聖書需要の高まりに応えるべく、愛徳印刷所が開設され、聖書の供給体制が整えられた。しかし、すべて

雲南省の少数民族ラフ族
／提供 ©UBS

上海の教会の
日曜学校風景
2004年4月

南京の教会にて女
性牧師に聖書を手
渡す渡部総主事
2004年3月

の必要を満たせているわけではなく、さらなる製作数増加が望まれている。

また一方では、牧師、指導者の不足が叫ばれている。牧師養成機関である神学校は、南京、上海、北京など大都市にあって、実践的な神学を中心に教育が行われているが、特に全クリスチャン人口の八十％を占めると言われる農村部において牧師不足が顕著である。指導者がいないと迷信や異端的信仰がはびこる危険性があるため、牧師不足は教会の成長と信仰の基盤を揺るがしかねない切実な問題となっている。そこで、国家宗教事務局もそれを国内不安材料として神学校設立に力を入れている。現在、三人に一人は女性教職者というのも、そうした実状を反映した中国の特徴と言える。

数字的な成長は目覚ましいものの、とりまく政治状況もあり、将来、中国の教会自体が健全な発展をしていくと手放しで楽観できないこともまた事実である。

台湾聖書協会

最後に、台湾と中国の関係について触れておきたい。

中国政府は、二つの中国を認めないという政策のもと、台湾とは一切交流を持たず、聖書協会同士ですら同様の事態となっている。文化革命の始まった一九六六年に設立された台湾聖書協会は、香港聖書協会と協力し、アジアの中国語圏における聖書頒布活動を支援してきたが、一九九七年、香港の中国返還以降は関係が途絶えている。香港聖書協会はＵＢＳ加盟を現在も維持しているが、台湾聖書協会の存在とは相反することとなり、ねじれ現象を起こしているのである。

ＵＢＳでは、中国の教会との唯一のパイプであるＣＣＣとＴＳＰＭ、そして愛徳基金会の愛徳印刷所を通じて、中国の聖書普及に参画する方法を選択している。この関係性は、台湾の問題も含め、今後の政治動向によって解決を模索するよりほかないと思われる。

結び

このような歴史や、現在の複雑な政治状況を理解しつつ、私たちは中国と交流を深めていきたい。特に日本は、過去の植民地支配の道義的責任を抱えていると同時に、長い歴史の中で中国とは文化的に深い結びつきを持っている。六千万とも言われる中国のクリスチャンのために祈り、今後ますます無形の支援を進めていく必要がある。一方、中国には全世界の未信者の三分の一の人口がいる。聖書協会は、どんな状況にあっても聖書そのものが福音を語ることを信じつつ、愛徳印刷所の聖書印刷事業を通じて、これからも聖書が一人でも多くの人の手に渡るよう努めていきたい。皆様のより一層の支援をお願いしたい。

『聖書 新共同訳 スタディ版 新約聖書』

聖書を読むことそのものをとことんサポートしてくれる

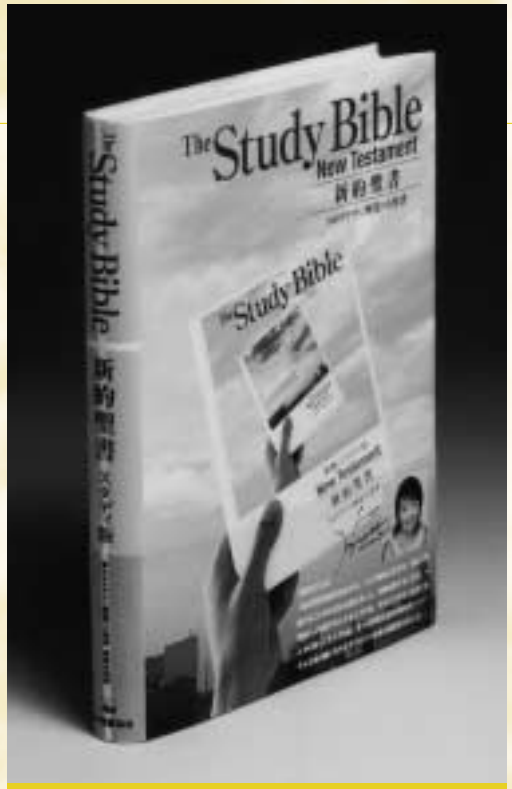
井幡清志
いばた　きよし
日本基督教団石動教会牧師

この際告白すると、私は不精者です。忙しく気ぜわしいと、書棚からあれこれ引っ張り出して調べるのを省略したくなります。大方分かる（つもりの）ことなら、サッと読み流したくなります。そんな方に、否、そうでない方にも朗報です。このたび出版されたスタディバイブルは、調べるのが好きな人にも、私のように億劫な人にとってもありがたい「聖書」なのです。

正直あまり期待していませんでした。「聖書に注がついただけでしょ」「お手軽な初心者用だな」「聖書なら持っているし、解説書もある。わざわざ買うこともないだろう」。

ごめんなさい。間違いでした。目新しい仕掛ではないのに、聖書を読むときの「視界」がずいぶん広がるように感じるのです。いま読んでいる言葉の説明がすぐ横の欄にあるのは、予想以上にいい。章末や巻末にまとめて注釈のある本では、注を見るたびページを移動するので読む流れが中断。すると煩わしくなったり、本文を読むスピードが落ちたりして、結局、注釈を利用しなくなっていませんか。

難しくない言葉や意外なフレーズに注釈があるのも良いものです。聖書を読み慣れていると、「あぁ、この言葉は分かるから」と読み過ごしがち。そこを立ち止まって、「ふ～ん、そうだったのか！」と教えられる。すぐ隣に注があるのでスッと目に入り、ついつい読んでしまうのです。これは、聖書と出会って間もない人や詳しい勉強をしていない人にとっても嬉しい特徴です。「初歩の初歩から分からないな」とか、「いちいち人に聞けないし」と困っているとき、ささやかだけれど（ここが大事。注釈自体があまり詳しいと、そこでさらに分からなくなる）的確な解説に助けられて読み進むことができるのです。何よりこれは、聖書について調べたり勉強したりでなく、聖書を読むことそのものをとことんサポートしてくれる本なのです。そして、それがとても大切なことだと思うのです。



●本文―共同訳聖書実行委員会
●注――アメリカ聖書協会（訳　日本聖書協会）
●A5判　608頁　定価2,940円（税込）
日本聖書協会

聖書を読もうとすると、難しい点があるのは確かです。まず、聖書の中でしか出会わない言葉があります。旧約を背景に（しかも多くの場合、読者がそれを知っていることを前提に）書かれている箇所もあります。調べようと思えば、聖書を解説した参考書はたくさんあります。でも、あらたまって聖書を学ぶのでもないと、なかなか調べるまではできないですね。勢い、「ただ字面を読む」だけになったり、ちっともページが進まなかったり。それが、聖書を読むことの敷居を高く感じさせている理由の大半かもしれません。

聖書を手にするのは、詳しく研究したい人だけではありません。「よし、通読するぞ」と決心してページをめくる人、なんとなく興味があって気軽に読みたい人、仕事や家事・育児の合間の限られた時間に楽しく聖書を読みたい人もいるでしょう。

スタディバイブルの取り組みは、高い敷居を壊し、聖書の中身・福音の特質である「敷居の低さ」を再認識させてくれます。また、固有名詞などの小さな解説を読むことは、それをしないと聖書が分からないわけではないけれど、聖地旅行に行くような（行ったことはありませんが）なかなか楽しい経験です。日ごとの書物として「読み進めたくなる聖書」の存在をクローズアップしてくれるのではないでしょうか。

聖書をじっくり・しっかり読みたい人にとっても、スタディバイブルはお薦め。解説書や辞書を繰っていると、その時間ばかり増えて、聖書を読んでいるのか聖書について調べているのか分からなくなります。そして、聖書の言葉の中に落ち着いて浸ることができなくなるのです。私も説教の準備をしながら思うのですが、聖書そのものを、その流れの中で、じっくり繰り返し読むことが、「聖書と私とのつきあい」にとっていちばん大切です。このつきあいを深めるために、スタディバイブルは、詳しさとやさしさの程よいバランスを備えた助け手となるでしょう。巻頭には手短な各書の解説、巻末には聖書のキーワードや読むためのガイドもありますが、何より全ページに併置された注が、この書物を価値あるものにしているのです。

抑制のきいたデザイン・レイアウト、書体や文字組みの良さと効果的な二色刷りが、信頼性と読みやすさを両立させていることも持ち味です。それは目立たないけれど、読み物にはとても大切なこと。「聖書って字が多いよね」と思っていた人も、これなら「意外と短いな」と気づくはずです。

本稿は(財)キリスト教文書センター発行『本のひろば』二〇〇四年一一月号より転載したものです。

秦剛平先生、村岡崇光先生講演要旨

守屋彰夫
もりや　あきお
東京女子大学教授

秦剛平先生による『七十人訳ギリシア語聖書』（河出書房新社）の創世記から申命記までの最初の五書の翻訳が二〇〇三年までに出版されました。計画では七十人訳聖書全部を網羅するものですから、完結まで数年はかかるでしょう。ほぼ時を同じくして海外では、ライデン大学（オランダ）名誉教授である村岡崇光先生が *A Greek-English Lexicon of the Septuagint (Chiefly of the Pentateuch and the Twelve Prophets)*, (Leuven , 2002) を出版されました。現段階では五書と十二小預言書が中心ですから、これも完結までには数年を要するでしょう。このように内外で日本人による七十人訳聖書研究の大きな業績が続く中で、この講演会が開かれました。

七十人訳『創世記』と『出エジプト記』とその背後にあるヘブル語テキスト

――秦剛平先生

最古の版からの翻訳

現在残っているギリシア語七十人訳聖書の主な写本は、四世紀のヴァティカン写本、四世紀中頃のシナイ写本、五世紀のアレクサンドリア写本です。いま広く流布しているスウィート版（一九世紀末）やラールフス版（一九三五年）は、これらの貴重な三つの写本を校訂したものなので、四世紀より前に遡ることはできません。そこで、紀元前三世紀の最古の版に可能なかぎり遡って原テキストを再構成しようとするゲッチンゲン版がいま出版されているところで、これを用いてこの翻訳をしているのですが、ゲッチンゲン版が完了する見通しが立っていないため、その未完の部分は古い版によって翻訳を進めていくことになります。

ギリシア語訳聖書誕生の理由

紀元前三世紀に旧約聖書がギリシア語に翻訳された理由について二つの説があります。当時のアレクサンドリア在住のユダヤ人は日常語にギリシア語を使用していたので、ヘブル語聖書が理解できなくなり、その必要性から生まれたとするもの。もう一つは、アレクサンドリアの図書館が世界中の図書収集を行う過程で、公的機関の要請から翻訳されたとするものです。

しかし実際は、当時、自民族の歴史の古さをめぐる熾烈な論争の中で、ユダヤ民族の歴史が天地創造まで遡ること、また出エジプトの出来事が深くエジプトの歴史と関わることを提示するとともに、モーセへの中傷も排除しようとして翻訳されたと考えられます。たとえば、出エジプト記四章六節のギリシア語訳では、「する

と、彼の手は雪のように（白く）なっていた」と病名を脱落させています。つまり、モーセに対するよけいな中傷を取り除こうと意識的に除去しているのです。このようなアレクサンドリアのギリシア人への弁明はヨセフスの記述にも見られ、当時のユダヤ人に対する偏見がいかに深刻であったかが分かります。

秦　剛平先生（多摩美術大学教授）

ヘブル語聖書との違い

ギリシア語テキストとヘブル語マソラ本文との不一致箇所は、創世記一章から一〇章までに百六十七箇所あります。それは、　神名表記、　固有名詞表記、　単位の表記、　定式へのこだわり、　太祖の年齢の嵩上げに分類できます。これらの考察から、創世記の訳者はギリシア人読者を想定して翻訳作業を行ったことが分かります。出エジプト記も、創世記での神名、地名、単位の表記法の特徴が継承されていることから、同じことが言えます。

また、ギリシア語訳創世記にはヘブル語マソラ本文には見られない語句がありますが、これは誤訳ではなく、翻訳者が使用した原本がヘブル語マソラ本文とは違うものだったことから生じたと考えられます。たとえば、出エジプト記には配列の不一致が圧倒的に多く見られます。また、出エジプト記三八章一八―二〇節に、マソラ本文にはない長い文章があります。わざわざ原文にない記述を創作することは考えられない場面です。逆に、マソラ本文にある記述が、かなり長く訳出されていないところも何箇所かあります。

このように今世紀前半は、七十人訳聖書研究が世界的規模でますます盛んになるでしょう。

最古の聖書翻訳――なぜその辞書を？ A Greek-English Lexicon of the Septuagint (Leuven, 2002) とその意義

――村岡崇光先生

七十人訳聖書の影響

欽定訳英語聖書が英文学や英語そのものに与えた影響は計り知れないものがあり、明治時代の日本語訳聖書も明治、大正時代の日本文学に多大の影響を及ぼしました。それと同じように、七十人訳聖書は、最古の聖書解釈が書かれたかたちで保存されたものであり、その影響は新約時代から現代にまで及んでいます。聖書翻訳は註解書を圧縮したようなものであり、七十人訳はその意味では、まさに世界最古の旧約聖書解釈・釈義の記録なのです。

また七十人訳聖書は、旧約聖書だけでなく、元来ギリシア語で書かれた文書も含め、外典、偽典も総称するため、紀元後二世紀初めまでのユダヤ教文書という性格を持っています。ですから、ヘレニズム史、ローマ時代のユダヤ教の姿を知るうえでも重要な文書です。

新約研究との関連性

七十人訳は新約学にとってもきわめて重要であることは、新約の著者や初期キリスト教徒にとって旧約聖書と言えば七十人訳であったことからも明らかです。

イザヤ書五一章一二節に「人の子」という表

現があります。これは新約学ではきわめて重要な概念なので、キッテルの浩瀚な新約聖書神学事典には当然この箇所が典拠として言及されているものと思っていたのですが、記されていないことを発見しました。新約学研究者に尋ねても、この箇所が「人の子」に関する議論で取り上げられた記憶がないと言います。つまり、新約学者もまだ七十人訳の研究が足りないのではないかと考えられるのです。このことからも、七十人訳聖書研究が新約研究に欠かせないことが判明します。

村岡崇光先生（オランダ・ライデン大学名誉教授）

また、ギリシア語の前置詞 epi＋与格は、「昇る」「沈む」といった自然現象を表す動詞と一緒に使用される例がきわめて少ないのですが、新約エフェソ書四章二六節や申命記二四章一五節の用例から、これが未完状態を表現することに気づきました。すると、出エジプト記二二章二節のギリシア語訳は、「まだ穴を掘っている途中で太陽が昇ってしまった」と訳せる可能性が生じてきます。七十人訳の辞書学と新約学の辞書学が密接に関連する好例です。

解釈がどう変わってきたか

創世記一章一節の翻訳がいい例ですが、旧約聖書の解釈は伝統に基づいています。古代訳がわれわれの解釈を助けてくれる場合もあるし、違った角度からの解釈の可能性を示唆することもありますが、その伝統は七十人訳聖書に遡ります。秦先生も指摘されたマソラ本文との相違は、七十人訳聖書が単なる翻訳作品の研究対象ではなく、独自の研究領域を持っていることを示すものです。

七十人訳聖書に対する見方には二つあります。翻訳者の視点から見る立場と、読者の視点から見る立場です。後者は、必ずしも原本のヘブル語テキストを参照しないで、ギリシア語のテキストとして読み、解釈する立場です。

以前は、聖書テキストやイスラエルの宗教・歴史も、できるだけ原初のかたちを復元する、遡るという関心が強かったのですが、一九七〇年代以降、むしろその後どのように変化・変遷していったのか、なぜ変わったのか、変えた人はなぜそのように変えたのかという方向へ関心や方法が変化していきました。この二つの立場は、フランス語の amont「川上へ」と aval「川下へ」という言葉で表現できます。私は後者の立場を推奨した人間の一人と自負していますし、秦先生の訳されている七十人訳も後者の範疇に入ります。

この動向の変化に合わせ、辞書もそれに見合ったものが必要になってきます。七十人訳聖書の辞書の編纂に取り組んだのは、この課題に答えるためです。この辞書は、ある単語の対応語を単に他の言語に置き換えるだけでなく、単語の用法をできるかぎり詳しく記述することに主眼を置いています。この辞書の編纂作業の六割方は終わっているので、イエス様の再臨が少し遅れることを密かに願いながら、なんとか完成させたいと思っています。

本稿は、二〇〇四年七月六日、日本基督教団銀座教会で開かれた「聖書セミナー特別講演会」の要旨を、企画立案者である守屋彰夫先生にご執筆いただいたものです。

中部地域での活動

第43回聖書和訳頌徳記念碑式典

日本初の聖書翻訳である『ギュツラフ訳 ヨハネ伝福音書』（一八三七年）の翻訳に協力した漂流船員の岩吉、久吉、音吉（通称・三吉）の業績を偲び、一九六一年の記念碑建立以来、毎年一〇月に「聖書和訳頌徳記念碑式典」が行われています。二〇〇四年は一〇月一二日に日本聖書協会主催（隔年で美浜町と聖書協会とが交代）で行われ、美浜町関係者と近隣の教会から七十五名の方々が出席されました。式典では、歌手の森祐理さんが「浜辺の歌」などの童謡や「アメイジング・グレイス」などの賛美を透明感あふれる歌声で披露され、故郷への帰還を願いながら果たせず、異国で没した三吉にみなで思いを馳せました。

式典で熱唱される森祐理さん

聖書普及講演会 in 名古屋

聖書普及講演会は、聖書普及の働きを一人でも多くの方に知っていただき、ご協力、ご支援を仰ぎたいという趣旨で進められています。昨年一〇月一三日に行われた「聖書普及講演会in名古屋」では、講師に聖路加国際病院理事長の日野原重明先生、音楽ゲストに、前日の記念碑式典に引き続き歌手の森祐理さんを迎え、七百名もの方にお越しいただきました。森さんによるミニコンサートの後、「病に生きる」と題して日野原先生にご講演いただき、たいへん好評を博しました。その後、内外の聖書普及活動の最新情報をご報告いたしました。聖書普及講演会（音楽のみは「聖書と音楽の出会い」）は、二〇〇五年度も、二月の埼玉、奈良を皮切りに、全国五箇所で開催する予定です。

講演会のようす

日程の詳細は当協会ホームページ、JBS年間イベントカレンダー（http://www.bible.or.jp/ivent_cal/）をご覧ください。

シンガポールにて音吉の墓が発見される

江戸時代末期、千石船宝順丸で遭難し、アメリカに漂着した後、世界各地をめぐった愛知県美浜町出身の「音吉」。その終焉の地シンガポールで彼の墓が発見され、現地に残されていた埋葬記録により確認されました。昨年3月、現地日本人会を通じて美浜町に連絡が入り、4月には齋藤町長自ら現地を訪問しました。音吉の埋葬場所はシンガポール北西部にある国立墓地で、発見者はシンガポール政府機関の土地管理局職員でした。

今後、美浜町では関係機関と交渉を行い、シンガポール政府の許可を得て遺骨を発掘し、シンガポールの日本人墓地納骨堂に安置するとともに、日本では子孫のお宅の墓所と小野浦の宝順丸乗組員の参り墓の良参寺に埋葬する方向で計画が進められています。実現すれば、遭難から実に173年ぶりに音吉の遺骨が祖国・日本へ帰ってくることになるのです。

JBS情報

クリスチャンセンター神戸バイブル・ハウスの近況

2003年4月の開館以来、西日本地区における聖書普及の拠点として、神戸市内の超教派活動によって運営されている「クリスチャンセンター 神戸バイブル・ハウス」。ここでは聖書協会主催の聖書セミナーが随時開催され、地域に開かれたクリスチャンの交流の場として活動が行われています。開館1周年記念の2004年4月、そして9月には聖書特別展示会も開催されました。皆様、どうぞお気軽にご利用ください。

クリスチャンセンター
神戸バイブル・ハウス
KBH

神戸市中央区磯上通 4-1-12
ハイパーホテル1-2-3神戸　2階
●三宮駅より徒歩10分
●TEL/ FAX：078-252-1966
●開館時間：月～金　午前11時～午後5時
●ホームページ：http://www.kobe-bible-house.net/
●Eメール：QYH05423@nifty.com

セミナーのようす

第2回特別展示より

BS NEWS

Eメール

ハンガリー聖書協会を支援する

渡部　信
わたべ　まこと
日本聖書協会総主事

2004年9月、ワールド・ミッション・プロジェクト・ジャパンの本多定雄師、三宅忠雄師、小田彰師の3師がハンガリー聖書協会を訪ねて、若者向けのハンガリー語スタディバイブル3,000冊の製作費分を献金してくださることになりました。ハンガリーは、人口1,000万人、国民１人当たりの年間所得はおよそ50万円と、決して経済的に豊かな国ではありません。ハンガリー聖書協会は1949年に設立されましたが、共産主義の時代に活動が制限され、1990年代になってから自由な頒布活動が復活しました。63%がカトリック、25%がプロテスタントのキリスト教国ですが、2002年度の旧新約聖書の頒布状況はわずか4万冊となっています。

首都ブダペストは、ドナウ川を挟んでブダとペストに分かれていた2つの地区が合併してできた町で、チェコの首都プラハと比べると物資は少なく、質素な印象を受けます。聖書協会事務所は、ブダ地区の大通りに面した2階建てのビルにあり、5人のスタッフがいて、こぢんまりとした書店を構えていました。

音楽家リストや数学者ルービックを生み出したブダペストは、温泉の町でもあり、町の中を走る路面電車やトロリーバスがにぎわいと情緒を醸し出していました。

総主事のオットー・ペシュク氏の話によると、共産圏崩壊後、活動の最大の障壁は西側の物質主義だということです。若者の心は物質文化に惹かれ、キリスト教伝道は決して容易ではないようです。現在、ハンガリー聖書協会の活動は聖書協会世界連盟の支援によって成り立っており、皆様の尊いご献金によって賄われております。

オットー総主事（左）と本多定雄師（右）

書店のようす

エッセー ㉒

マリア福音姉妹会にて

――悔い改めの中からほとばしり出る神の恵み

森　祐理

昨年の夏、長いあいだ願っていたドイツにあるマリア福音姉妹会を訪れることができました。

マリア福音姉妹会は、マザー・バジレアとマザー・マルテュリアによって創立されたプロテスタントの会です。小さな街ダルムシュタットの郊外にある広大な敷地の中に、礼拝堂や宿泊施設、シスターたちの生活の場や農場などがあり、「カナン」と呼ばれています。この中のそれぞれの場所にガリラヤ湖やタボル山、ゲツセマネの園と名がつけられており、まさに聖書の世界が広がっていると思いました。

ドイツ在住の知人とタクシーでこの「カナン」に到着。降り立ったとたん、花々や緑の樹々が「うれしい、うれしい」と叫んでいるような生命の輝きを感じました。この世の中にこれほど美しく主の霊に満ちたところがあるのなら、天国はいったいどんなにすばらしいのかしらと、なんだか雲の上を歩くような気持ちで宿泊施設へ移動し、わずか三日間ですが、イエス様とゆっくり過ごす時間が始まりました。

現在「カナン」には世界各地から数万人が訪れ、主との交わりの時を持っています。宿泊施設もとても充実し、家族の希望がない限り、みな一人部屋です。これは一人静まって時を過ごすためだそうです。日本人だということで、私の部屋には日本語の書物や聖書、御言葉のカードなどを置いてくださり、シスターたちの温かいお心配りを感じました。愛や優しさが人となったら、こんなふうになるのかしらと思うほど、シスターたちの顔は愛で満ちています。

この「カナン」は、一九四九年、何の助けもなく、ただ祈りと神への信仰によって建てられたという驚くべき経緯があるのですが、今でも百人近いシスターたちによって、すべてを神様により頼みつつ管理されています。

ここにはシスター・ソハラという日本人のシスターがおられるので、日本語で案内や霊的な導きをいただきました。

「ユリさん、なぜマザー・バジレアがこれほど用いられたか分かりますか」

美しい礼拝堂を歩きながら、シスター・ソハラが尋ねられました。

「それは、誰よりも自分が罪人だと知っていたからです。イエス様に近づけば近づくほど、その聖さの前で自分の醜さを知ります。だから人は、低く低く主の前に出ることができるのです。」

礼拝堂のいちばん後ろに立つと、不思議なことに、講壇に向かって床が下に傾斜しています。

「ふつうは講壇は高いところにあるでしょう。でも私たちは、主に近づくために低く低くならねばならないのです。それを表している会堂なのですね」

すべてがこのように霊的な意味とメッセージがこめられていました。

「どんな大事業も、イエス様を愛するがゆえになされるのでなかったら、消えてしまいます。でも、ぞうきんのひとふきでも、イ

エス様を愛してするなら、それは永遠に残るのですよ」

私はこの言葉に心がわしづかみにされたようにドキンとしました。

――私は、イエス様を愛しているがゆえに歌っているだろうか――

年間百二十回近くものコンサートがあり、自分なりに命をかけて伝道のわざに励んできたつもりでいますが、少しずつ自分自身の満足のために歌っている部分が出ていなかったか強く問われました。良い音響や構成、人々の評価……神様の道具として歌わせていただいていると思っていながら、実はたくさんのものを握って放せない自分の姿に気づかされたのです。

――すべて自分に価値あるものを手放し、イエス様の愛だけで満たされる者としてください。――

シスター・ソハラと共にささげたお祈りの中で、なんだか新しい自分になったような喜びを感じました。

毎日三時のお祈りや、「カナン」で収穫されたものを料理したおいしいお食事、奇跡的に湧いたと言われる泉からゴクゴクと飲める命の水……。シスターたちとの愛の交わりと同時に、まさに天国を味わった三日間でした。

帰国してまた忙しい生活に戻った私は、「すべてイエス様の愛ゆえに」と張り切っていました。コンサートや後援会でもマリア福音姉妹会での恵みをお証しし、「自分自身にからみついていたすべてを手放し、主にあって解放されました！」と話していたのです。

ところが、帰国後のコンサートを重ねるうちに、何か自分の中で霊的な違和感を覚えるようになりました。いつもコンサートの命である圧倒的な主の臨在があまり感じられず、疲れがとれない……。なぜだろう、あんなにドイツで恵みをいただいたのに……。

ある時、祈りの中で神様は私の心に語りかけられました。

「おまえは、本当に手放せているのか。」

さまざまな肉の思いをそぎ落として生きてゆきたい。イエス様だけと時を過ごしたい……。そう思っても現実は、仕事や人間関係など、自分自身の足りなさを思うばかりです。それなのに、もうすっかり大丈夫と思いこみ、自分がまるで一段高いところにいるような高慢な思いを持ってしまったことを本当に恥ずかしく思いました。

「ユリさん、父なる神様が私たちを忍耐してくださったように、私たちも自分自身に忍耐を持たねばなりません。翌日に百八十度すべてが変わっていることはないのですから。」

このシスター・ソハラの言葉が響いてきました。

そうです。私のすべきことは、ただ主の前にひざまずき、日々悔い改めて生きること。その歩みの中でこそ少しずつ主と似た者に変えられるのです。

悔い改めの中で、再び賛美の中に深い主の臨在が感じられ、聖霊の風が吹くようになりました。悔い改めの中にこそ、神のほとばしるような愛があふれるということは、なんという喜びでしょうか。実はそれこそが、マリア福音姉妹会で学んだ恵みだったのです。

いま改めて、マリア福音姉妹会に主が導いてくださったことを感謝しつつ、その恵みを胸に刻み、日々悔い改め、主と共に歩んでいきたいと思わされています。そして、いつの日かイエス様と出会う時、「あなたを愛するがゆえに歌い、生きました」と言えるような、そんな者となりたいと願っています。

森　祐理（もり　ゆり）
福音歌手

生と死と愛の深み
川端康成の聖書

鈴木範久（すずき のりひさ）
立教大学名誉教授

三冊の聖書

立教大学で「聖書と日本文化」展が開催されたのは、一九九九年秋のことであった。そのとき、川端康成の聖書を三冊お借りすることができた。その三冊とは、文語訳が『旧約聖書　引照付』（米国聖書協会、一九三五年三月三〇日）と『新約聖書　詩篇付』（米国聖書会社、一九三五年九月三〇日）の二冊、口語訳が『聖書』（日本聖書協会、一九五五年）の一冊であった。

文語訳の『新約聖書』の裏表紙には、次の記入がみられた。

昭和拾年十二月六日之れを求む

チェックの記された『聖書』
（日本聖書協会　1955）

また、口語訳の『聖書』にも次の文字が記されていた。

軽井沢一三〇五　川端康成

いずれも川端自身の手で書かれたものとみられる。文語訳は一九一七年に改訳されたものであり、口語訳は、一九五五年に新約聖書についで旧約聖書の口語訳も成り、両者を収めた一冊本である。文語訳本が黒色の表紙であるのに対して、口語訳本が真っ赤な表紙であることに目を見張った。

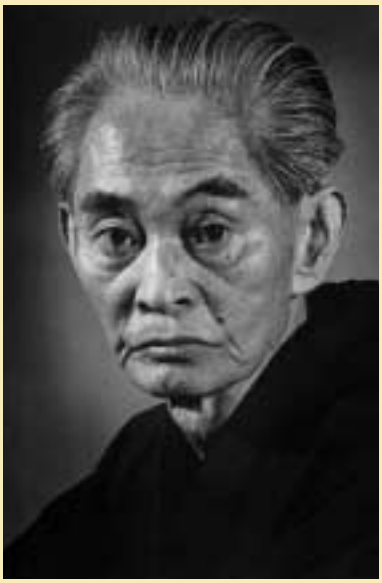
川端康成とキリスト教

川端文学というと、東洋的作風が連想される傾向だったが、このところ、作品にあらわれるキリスト教または聖書の要素がかえりみられるようになってきた（松坂俊夫、武田勝彦などの研究）。

川端が最初に教会に行ったのは大阪の中学時代であるとみずから語っている。ただ中学時代は、聖書には接した

が、英語を聞きに行った程度であった。上京して第一高等学校に入学すると、近くの東京帝国大学基督教青年会館に出入りするようになる。これまでの研究によると、作品における聖書との結びつきがかなり認められるのは、一九二五年ころといわれる。それは短編「弱き器」（一九二四年）の題名にもあらわれている。一九二四年という年は、川端が東京帝国大学を卒業した年になる。

この時期の作品に聖書の言葉が多く認められることよりみて、当然、聖書も所持していたであろうが、遺されていない。右にあげた文語訳聖書が購入された一九三五年は、「雪国」を執筆中である。しかし、病気がちで、入退院を繰り返していた時にあたる。



写真提供／©柿沼和夫氏

川端が、改めて聖書に親しみ始めたのは戦後である。それは一生変わらなかった。川端文学におけるキリスト教の影響は伊藤整により初めて指摘された。伊藤は、その作品に、バイブルをよく読んだ痕跡と、野の花や幼子のあどけなさに生命をみたイエスのまなざしを見いだしている。

遺された聖書から

前述した三冊の聖書のうち、文語訳の『旧約聖書』には付箋の挟み込みがみられ、口語訳の『聖書』には創世記の部分にのみ欄外にチェックが付されていた。付箋のほうは、川端家からも動かさないようにとの依頼があった。それでわかるように、生前の川端自身が挟んだまま伝えられたとみなされる。

ここでは『旧約聖書』の付箋の挟み込まれたところだけ紹介したい。少し日が経っているので正確ではないかもしれないが、あったのは次の五箇所である。

出エジプト記四～五章、申命記三四章～ヨシュア記一章、列王記略上一～二章、詩篇一一九篇、雅歌二～四章

ここで気づかされる点は、申命記の終章からヨシュア記の冒頭にかけては、モーセの死とヨシュアによる事業の継承、列王記略上の初めは、ダビデの死とソロモンによる王位継承である。大いなる者の死はあるものの、それを受け継ぐ新たなる者の生のドラマが描かれている。雅歌は名高い愛の賛歌で、作品「父母」に用いられている。

ちなみに、堀辰雄は、川端の軽井沢の別荘を借りていたとき、その家にあった川端の聖書で詩篇を読み、『風立ちぬ』の中の「死のかげの谷」を書いたという。川端の別荘のあるあたりは「幸福の谷」と呼ばれるところである。堀は「幸福の谷」で「死のかげの谷」を書いたことになる。その「死のかげの谷」の文章は、のちに川端の作品「地」に引用された。どうやら、川端文学の生と死と愛の深みは、親しんだ聖書とのつながりに行き着くように思われる。

軽井沢の山荘

Bible Guide

こんな聖書、ご存じでしたか?

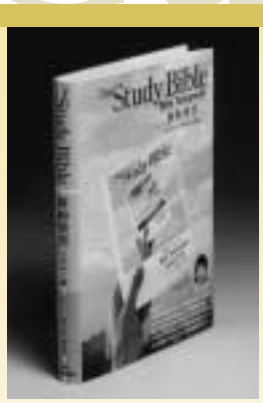
このコーナーでは、新共同訳聖書で今いちばん売れているもの、
隠れた人気の品目をご紹介します。

Bible Guide

スタディバイブル新約聖書

わかりやすい解説つき聖書

聖書をより深く勉強したい方にお勧めです。本文と並行して、随所にわかりやすい解説がついています。今、最も売れている聖書です。



●型番NI 253 STUDY
●A5判
●608頁
●定価2,940円

アートバイブル

新共同訳抜粋

発行以来、根強い人気! 聖書本文の抜粋とともに世界の名画がオールカラーで豊富に入って、旧新約聖書の物語を味わいながら読むことができます。

●型番NI ART
●A5変形判
●528頁
●定価2,940円

バイブルトーク新約聖書

携帯ラジオサイズの筐体に、なんと新約聖書の朗読音声がすべて入っています。持ち運べ、イヤホンでも聴けるので、いつでもどこでもみ言葉を耳から味わえます。

●型番NIBT-NT
●サイズ105×71×27mm
●重量92g(電池込)
●定価13,860円

キリストの言葉マークつき新約聖書

新約聖書すべての書にあるキリストの言葉に、赤いマーキングが施されており、一目でみ言葉が探せる便利な聖書です。

●型番NI 254 MK
●B6判
●480頁
●定価1,890円

大型サイズ引照つき革装聖書

豪華な本革装で引照つき。卓上でじっくりと聖書を味わい、学びたい方にお勧めです。ケースに入っているので、書棚に置いても貫禄のある雰囲気を醸し出します。五十冊限定製作。ご予約承り中。

●型番NIO 58
●A5判
●定価21,000円
※旧約続編つきNIO 58 DC（22,050円）もあります。
※写真は続編つきです。

堅表紙中型聖書

新共同訳の中型聖書はビニールクロス装と革装だけではありません。クロス装丁の堅い表紙もあります。腰がしっかりとしているので、教会備え付けや書棚用に最適です。

●型番NI 53（RC）
●B6判
●定価3,990円
※旧約聖書続編つきNI 53 DC（RC）（4,620円）もあります。

プレゼント用新約聖書 詩編つき〈スイートピー〉

淡いピンクの品のよい表紙に十字架の金箔押しがされています。小型なので、結婚式、お誕生日、受洗祝い、イースターなどのちょっとしたプレゼントにいかがですか？

●型番NI 345（PK）
●A6判
●定価1,365円

聖書地図バイブルアトラス

豪華なオールカラーの聖書地図。説明も詳しく、イスラエルの航空写真も入っています。聖書研究の補助教材としてお勧めします。

●型番NI ATLAS
●サイズ235×255mm
●定価1,995円

NIV／新共同訳 和英対照新約聖書

世界で最も普及している英語訳の一つNew International Versionとの対照。日本語は総ルビつきです。いろんな聖書を読み合わせすると、意外な発見があるかもしれません。

●型番NI NIV 263 DI
●A5判
●744頁
●定価2,480円

●ご注文方法

ご注文は、最寄りのキリスト教書店へお申し込みいただくか、巻末のハガキを用いてご注文ください。なお、巻末ハガキによるご注文は代金着払い（代引き）扱いとさせていただきますので、お届け時に宅配便のドライバーに代金と手数料210円（税込）を合わせてお支払いください（何冊のご注文でも手数料は同額です）。

ここに記載以外の製品も当協会のホームページ

http://www.bible.or.jp/online/

からご注文いただけます（荷造送料630円）。

●財団法人 日本聖書協会
〒104-0061　東京都中央区銀座4丁目5番1号　聖書館ビル
TEL.03-3567-1987　FAX.03-3567-4451
ホームページ　http://www.bible.or.jp
Eメール　distri@bible.or.jp
振替00160-2-18410（価格は消費税5%込）

教会備え付け聖書リフレッシュ・キャンペーン

あなたの教会の聖書、古くなっていませんか？

今、日本聖書協会では、あなたの教会の古くなった聖書をお取り替えするキャンペーンを実施しています。最近、「教会の聖書の表紙がボロボロになってきた」「会堂を新しくするので、この機会に古い聖書も新しくしたい」とお感じのことはありませんか？　聖書のお引き取りは20冊以上から承ります。リフレッシュ・キャンペーンは常時行っております。どうぞお気軽にご相談ください。

★ 方法は

お電話で担当者に聖書の種類と状態、冊数をお伝えください。
お引き取りする聖書と同じ冊数の新しい聖書をご購入いただきます（その送料は当協会負担）。

代金は、通常ご利用のキリスト教書店からご請求いたします。
聖書が届いたら、古い聖書を当協会にお送りください（その送料だけご負担ください）。

★ 詳しくは頒布部までお問い合わせください。

TEL.03-3567-1987　FAX.03-3567-4451　**Eメール：**distri@bible.or.jp

"Refresh Church Bibles" Campaign

編集後記

今回は、中国の教会成長と聖書普及について取り上げました。

歴史をさかのぼれば、日本と中国との国交は、六〇七年、聖徳太子が小野妹子を国使として送り出した遣隋使によって開かれています。これにより日本は、律令制度や税制といった政治制度、仏教、暦、天文、地理、音楽、薬学など、当時最新の文化を吸収しました。そして、その関係は随から唐、宗を経て、一六世紀半ばに室町幕府と明との勘合貿易が途絶えるまで続き、日本の文化形成に大きな影響を及ぼしてきました。

中国は長江文明や黄河文明の発祥以来、悠久の歴史を有し、他民族や他国からの侵略、支配をたびたび受け、国の興亡、分裂を繰り返してきました。現在の無神論を核とする支配体制下にあって、キリスト教がかくも目覚ましく普及、成長しているのは、人々が多大な犠牲を払いながら数多の試練と苦難を乗り越えてきたことによるのでしょうか。長い歴史の中で人々の内に竹のようなしなやかさと強さが培われ、それが脈々と受け継がれているように思わされます。そういう面で日本の社会とキリスト教の実状を振り返るとき、再び中国に学ぶ姿勢を持つべきことを知らされます。今後、共に成長するために、信仰の交わりが豊かに深められていくことを願わずにおれません。

◆本誌へご意見・ご感想をお寄せください。お葉書、Eメールなどでお受けいたします。お寄せくださった方には素敵な『絵葉書セット』をもれなくプレゼントいたします。
Eメール／info@bible.or.jp

聖書図書館蔵書シリーズ──㉓

ジュネーブ聖書

The Geneva Bible

ロンドン
1599年刊
縦：23cm　横：18cm

イギリスでは、反宗教改革の意識の強かった女王メアリーの即位（1553年）によって、人々は聖書を読むことを禁じられ、プロテスタント主義者の著作が禁書とされた。この迫害を逃れてジュネーブに渡った学者たちの手によって翻訳された聖書。新約聖書は1557年、旧約は1560年に完成した。

旧約は、実質的には原典ヘブライ語からの初めての英訳である。各章をさらに節に区分し、原典にない訳語はイタリック体で印刷した。また、ひげ文字のゴシック体ではなくローマ活字を用い、これ以前の聖書に比べて小型で価格も安く、地図や挿絵、多くの欄外注がついている。

これはウィリアム・シェークスピア、ジョン・バニヤンが用いたと考証される聖書であり、1611年の欽定訳の発行までおよそ50年間、英国民の家庭用聖書であった。また、アメリカに渡ったピューリタンたちが携えていき、広く大衆に普及した最初の聖書である。

SOWER ソア No. 25
2005年2月1日発行
【2月・7月の年2回発行】
発行・財団法人 日本聖書協会
〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目5-1 聖書館ビル
電話 03-3567-1988 FAX 03-3567-4451 振替 00160-2-18410

激動の世界に、変わりなき神のことば

（聖書協会世界連盟 2004ー2008年 標語）

中国での聖書普及活動

1987年に聖書協会世界連盟（UBS）の支援でつくられた南京愛徳印刷所では、これまでに約3,500万冊の聖書を中国国内の教会において頒布してきました。中国70個所の拠点から何千キロも離れた奥地の教会にまで聖書が届けられているのです。クリスチャン人口の伸びが目覚ましい中国にあって、聖書頒布は今や欠かすことのできない大切な働きです。聖書協会世界連盟から、毎年中国での聖書印刷用紙の費用として、2億円もの募金がささげられています。

バンに積まれる聖書

南京の教会にて聖書を手渡す日本聖書協会 総主事 渡部 信

雲南省の少数民族ラフ族の人々

ご指定の国へ聖書をお贈りすることができます。

贈呈されたウクライナ語新約聖書（左）と
チェコ語聖書（右）

特に聖書を贈呈したい国のご希望があればご要望にお応えし、その国の言語で聖書を製作しお贈りするサポートをしています。これまでに「ワールド・ミッション・プロジェクト・ジャパン」（WMPJ）様からのご指定献金によりウクライナ語新約聖書30,000冊とチェコ語聖書6,000冊、ハンガリー語聖書3,000冊をお贈りいたしました。

ハンガリー聖書協会の人々と

指定献金は100万円より承ります。

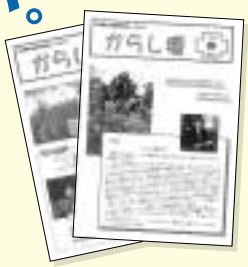
（詳しくは募金部にご相談ください）

日本聖書協会の後援会にご入会ください。

世界中には、聖書を手にすることが困難な方がまだ多くいらっしゃいます。すべての人に聖書をお届けするために、皆様のご協力をお願いしています。
後援会員になって、恒常的に聖書協会の働きをご支援ください。

年会費は下記の5種類からお選びいただけます。

5万円／年　1万円／年　5千円／年　3千円／年　1千円／年



ホームページからもご入会のお申し込みをしていただけます。
http://www.bible.or.jp/collect/col03.html

会員の皆様には年4回発行の会員誌ニュースレター「からし種」をお届けし、聖書協会のホットな情報をいち早くお知らせしています。

■後援会ご入会のお申し込み、ご献金のお振り込み、その他お問い合せは募金部が承ります。

財団法人 日本聖書協会
JAPAN BIBLE SOCIETY

〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1 募金部 TEL 03-3567-1980
郵便振替：00160ー2ー18410
銀行振込：三井住友銀行 京橋支店（普）6552744 口座名：（財）日本聖書協会
ホームページアドレス http://www.bible.or.jp/collect/col01.html

財団法人 日本聖書協会のホームページ
http://www.bible.or.jp

編集協力＝雑賀編集工房
デザイン＝株式会社 デザインコンビビア

印刷＝株式会社 高速オフセット